

2017 年度第 3 回関西学連総会 議事録

開催日時：2017 年(平成 29 年)9 月 16 日(土曜日) 14:30~16:00

開催会場：滋賀県蒲生郡竜王町 滋賀県希望が丘文化公園青年の城

議事録作成者：副幹事長 藤本 拓也

出席者(敬称略)

遠藤 匠真	幹事長
山本 明史	事務局長
藤本 拓也	副幹事長
田中 創	競技部長
羽鳥 咲和	渉外部長
中川 真緒	会計部長
山田 将輝	普及部長
松永 佳大	京都大学渉外
稲岡 雄介	大阪大学渉外
田沼 美来	京都女子大学渉外
田中 優里	奈良女子大学渉外
川島 聖也	神戸大学渉外代理

1. ミドルセレ予算案・要項承認

遠藤	先日ミドルセレの予算案と要項が送られてきた。これらを承認する幹事は挙手をお願いしたい。
	出席幹事全員(7)一致で承認。

2. 明石海峡再セレの選考方法

遠藤	明石海峡2日間大会の2日目は予選決勝方式で行われ、予選から複数ヒートに分割されるため、参加者全員が同じコースを走ることがない。したがって選考方法を以下のようにしたい。 1. 原則として A 決勝を完走したセレクション対象者の上位 5 名を選出する。
----	---

	<p>2. A 決勝に選出したセレクション対象者が 5 名未満の場合、不足分は B 決勝を完走したセレクション対象者の上位から選出する。</p> <p>3. A 決勝に進出したセレクション対象者が 5 名以上であって、万が一完走者が 5 名未満であった場合、不足分は諮問委員会による推薦枠として選出する。</p> <p>この選考方法について各校で既に確認をとってもらっていると思うが、承認する涉外は挙手をお願いしたい。</p>
	<p>全員(5)一致で承認。</p>

3.関西学連第 1 回定例戦会計報告

稲岡	<p>5 月 14 日に開催した関西学連第 1 回定例戦の会計処理が終了した。現在会計監査の回答待ちの状態である。</p>
----	---

4.明石海峡再セレ(男子) 特例措置の追加について

(2017/09/18)

今回の明石海峡再セレ(男子)ではセレクションとして不適切であると判断される事象が発生しなかったため、この特例措置の追加は行われません。

遠藤	<p>明石海峡再セレ(男子)が台風により中止になってしまう可能性があり、この場合の対応を検討する必要がある。全枠を諮問委員会による推薦とするか、播磨中央公園で行われたセレの結果を使うかということになるだろうが、どちらも問題点が多い。播磨中央公園でのセレに出ていることを条件に全枠推薦とするのが折衷案として自然だろうか。</p>
田中創	<p>以前幹事会で決定した特例措置では推薦の選考に用いる大会を 9 月 23 日(土)の静岡大学セレまでとしていたが、これはどうするのか。 また、播磨中央公園セレでの結果はどのように扱うのか。</p>
遠藤	<p>明石海峡再セレまでの大会を削るのは、明石海峡再セレに出られないが推薦の選考に向けて頑張っていた人の存在を考えるとフェアではないだろう。ただ、静岡大学セレなど 9 月 19 日以降の大会は入れなくていいだろう。 また、推薦においては優先度 2 の大会(前年度インカレスプリント以外)のうち播磨中央公園セレの結果を重視するようにすべきだろう。</p>
田中創	<p>推薦において播磨中央公園セレでの結果をどのように見て推薦を決めるのか。</p>

遠藤	幹事会で決められることではないので、諮問委員に委託することになるだろう。
松永	明石海峡再セレが中止にならなかったとしても、たとえば特定の大学が公共交通の問題で来られなかった場合などはどうするのか。
遠藤	<p>セレクションとして不適切である場合、とまとめて基準を設けるべきだろう。今までの内容を整理すると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の推薦基準を2つに分け、 優先度2：播磨中央公園セレの公式成績表を参考に諮問委員が判断する 優先度3：提出された特筆すべき大会を参考に諮問委員が判断する とし、提出できる大会を前年度スプリントセレより後から2017年9月18日までに開催された大会とする。 ・明石海峡再セレで選考されるはずだった5枠およびこの再セレの救済枠として設けられていた2枠の推薦枠について前項の推薦基準を適用する。もう1枠については原則として通常の推薦基準に従うが、成績を提出できる大会は前年度スプリントセレより後から2017年9月18日までに開催された大会とする。 <p>ということになる。この内容で承認する涉外は挙手をお願いしたい。</p>
	全員(5)一致で承認。

5. ロングセレトレイン新規開拓について

田中創	<p>NishiPro に連絡を入れて返答をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規トレイン調査なら150万円が目安 ・トレイン選定や涉外は基本的に自分たち(関西学連)でやることになる ・完成には2か月程度を要する ・今年の調査は無理そうだが来年なら大丈夫そうである ・個人(西村さん)としてはグリムや上桐生の拡張が良いのではないかと資金はあるのでやはり新規トレインを開拓したい。まずは山城の里から当たってみたいと思う。
遠藤	新規というのにこだわっているのは、今年のロングセレのように今まで使えたところが急に使えなくなりそうになったときの予備が欲しいからである。
田中創	新規トレインを開拓するにあたって下見等にかかる必要経費1万円を予算に計上してほしい。
遠藤	下見の経費を出すことを承認する涉外は挙手をお願いしたい。
	全員(5)一致で承認。

6.奥鹿野の渉外について

羽鳥	奥鹿野の区長が変わっていてオリエンテーリングに関して引き継ぎができていなかったようである。前回話した、全く取り合ってもらえないという状態ではなくなったため、オリエンテーリングについての資料を送り、そこから渉外を始める予定である。
----	--

7.来年度全日本大会へのロングセレ併設について

遠藤	<p>アンケート結果を見て考えていきたい。回答は77件あった。</p> <ul style="list-style-type: none">・あなたは来年度の全日本大会に関西ロングセレを併設することに関してどう考えていますか？ 積極的に併設することが望ましい(23.4%) 望ましくはないが致し方ない(45.5%) 可能な限り回避すべき(27.3%) 断固反対(3.9%)・仮に併設することになったとして、どのような形ならよいと考えていますか？ 全日本併設セレにおいて全通過者(推薦除く)を決定する(42.9%) 全日本併設セレにおいて全通過者(推薦除く)を決定するが、関西インカレを別に開催する(22.1%) 全日本併設セレに加えて、例年のような独自セレも開催する(31.2%) その他(3.9%)・仮に併設しなかったとして、来年度の全日本大会に参加されますか？ はい(39%) いいえ(61%) <p>まず、1つ目のアンケートの結果から併設に賛成しているのが7割・反対しているのが3割ということで併設賛成派の方が多い。また、3つ目のアンケートの結果で分かるように併設されなければ全日本大会に行かないという人が多い。これは併設を拒否するには根拠が足りないのではないだろうか。また、全日本一本で通過者を決めるという意見の人が多数派のようである。</p>
松永	1つ目のアンケートについて、「望ましくはないが致し方ない」を併設賛成派と取っていいのか。「セレ併設に反対だが、併設するのであれば全日本に行く」という考えでこの選択肢を選んだ人が結構いるのではないだろうか。

田中優	実際私自身は松永の言うような解釈をしていた。
	時間の都合上、この日は議論を打ち切ることとし、全日本併設について決めるための臨時総会を開くことになった。

8.各部局から

山本	学連追加登録をする場合はデータベースに記入して1人3,200円の加盟費を払ってほしい。9月30日までにしないとインカレ一般クラスに出られないので注意してほしい。
遠藤	臨時総会を10月に開く予定だが、その次の総会をミドルセレの後に開く予定である。それまでにロングセレのトレインと日程を各校第3候補まで決めてきてほしい。